

— 現代の五節句にあたる平安時代の年中行事 —

平安時代	現在
わかなをくうず	じんじつ
供若菜	人日
じょうしのはらえ	じょうし
上巳祓	上巳
たんごのせちえ	たんご
端午節会	端午
きこうでん	たなばた
乞巧奠	七夕
ちょうようのせち	ちょうよう
重陽節	重陽

五節句

季節の移りかわりの日で、特に重要とされる年中行事が行われる。

人日 [じんじつ]	1月7日	七草の節句。七草がゆを食べる。
上巳 [じょうし]	3月3日	桃の節句。ひな祭りが行われる。
端午 [たんご]	5月5日	菖蒲の節句。男の子の成長を願う行事が行われる。
七夕 [たなばた]	7月7日	七夕の節句。七夕祭りが行われる。
重陽 [ちょうよう]	9月9日	菊の節句。菊の花を飾る。

【参考文献】『平安時代儀式年中行事事典』阿部猛ほか編 東京堂出版 2003年9月発行

『親子で楽しむ365日暮らしの行事』早未恵理監修 大泉書店 2008年11月発行